

社会医療法人明和会 中通総合病院

薬剤部長 佐々木修

社会医療法人明和会の基幹病院である当院は、秋田市の中心部にあり、秋田駅より徒歩15分と交通の便は良好です。診療圏は秋田市を中心として、県内全域に及び、救急医療や脳神経外科、心臓血管外科などの高度専門医療を行う一方、地域に密着してプライマリ・ケアや生活習慣病に対する医療、がん医療、高齢者医療に取り組んでおり、総合的、全人的な医療の実践を目指しています。

中通総合病院は昭和43年に現在の場所に移ってから45年の時が経過し、老朽化が問題となっておりましたが、この度、待望の新病院が完成しました。新中通総合病院は昨年11月25日竣工式を終え、12月2日より新病院で診療を開始しております。今後は、既存棟の改修工事、旧中央棟の解体、駐車場等外構の整備を経て平成26年10月にグランドオープンの予定となっております。新中通総合病院は総病床数450床（ICU8床、救急病床8床含む）、22診療科の一般外来と16専門外来で診療を行っております。

薬剤部は新病院2階にあります。薬剤部スタッフ出入り口を出るとすぐ病棟専用エレベーターがあり病棟へのアプローチがし易くなりました。また、外来化学療法室も近くに位置しており、動線が短く、速やかな対応ができるよう設計されました。薬剤部の特徴の一つとして、完全室外排気型の安全キャビネットが4台設置された抗がん剤調製室があります。入院および外来患者さんの抗がん剤ミキシングは全て薬剤師が行っておりますが、安全性と作業効率の非常に高い環境で実施されていることは、薬剤師はもちろん、医療スタッフおよび患者さんにとっても有益な事だと思えます。他にもまだまだ紹介しきれない事がたくさんありますのでご興味ある方は一度見学においで下さい。

現在、薬剤師15名（臨時1名含む）、事務員・助手4名の体制で日々多忙な業務を行っております。薬剤師に対する医師や看護師からの要望が高まる中、現状では決して十分な病棟薬剤業務ができているとは言えません。しかし、新年度は新人薬剤師も加わることから、優れたハードとソフトを兼ね備えた新中通総合病院薬剤部として、病棟薬剤業務をはじめ、チーム医療活動のますますの充実を目指していききたいと思います。



地上9階、地下1階の新中通総合病院（外観）



木製カウンターで落ち着いた雰囲気総合案内・受付・会計



9階のダイニングからは秋田市街を一望できます



病棟用エレベーターを降りると直ぐに薬剤部入口
(出入口はオートロック式でセキュリティー強化)



電子カルテをフル活用し、徹底した処方鑑査を実施



作業効率を考慮した動線で調剤機器や薬品棚を配置



最終監査はパテーションで区切り、集中できる環境で行われる



完全室外排気型安全キャビネットでの抗がん剤ミキシング



D I 室



当直室 (狭いと噂されている?)



撮影当日に集まったスタッフ

(当直、代休などにより全員が一堂に会することはまずない)